



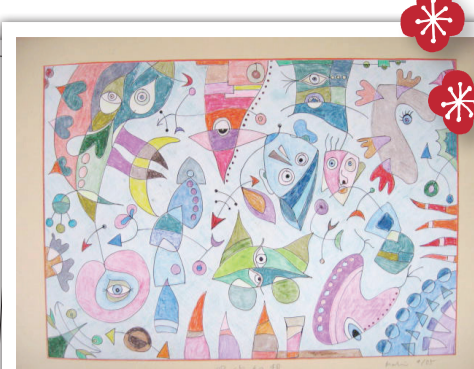
幼少時代、画家だった叔父さんと



1991年、グロースハンズドルフの病院にて



自身の経歴を振り返り、祖父も父親もその他多くの親戚も医師という医学一家に育ったということ、2008年に病院で行われた定年退職祝いにて、イラストを使って説明した



中島さんの絵画。感情が高ぶっているときは原色を使って大胆に、落ち着いたときは細かいモチーフを丁寧に描くという

日本で65歳の医師ならば、上から手術をのそくような立場なのでしょうが、ドイツでは、上に立つ人間は常に第一線にいるものなのです。

絵を描くことで 医師業との バランスが取れている

退職後はどうされるご予定ですか？

本来は2008年に定年退職したら、NGO団体の「国境なき医師団」でボランティア活動をしたいと考えていました。しかし、アフリカに派遣されるケースが多く、英語が必須で日常会話程度のフランス語も求められるということ、そして政情不安定な地域へ赴くことに妻が反対したことから、断念しました。ただ、ほかにも似たようなボランティアの組織があるようなので、今情報を集めているところです。

あるいは、アーレンスブルク内に「無料医療相談所」のようなものを作ろうかな、とも考えています。お年寄りの多くは、相談相手を求めているんですよ。開業医に通院しても、面談時間はせいぜい2、3分ですから。いずれにせよ、ボランティアのような形で医師を続けていきたいとは思っていますが、まもなく68歳になりますので、どの程度働けるかが問題ですね。

医師業の傍らで、個展を開くほど本格的に絵を描かれていますね。

絵画は10歳の頃から画家である叔父に習い、大学生の頃には個展やグループ展をよく開いていました。ポスターや雑誌の表

紙のイラストを描いて小遣い稼ぎもしていました。ポスター1枚で1万円くらい。当時、1カ月1万5000円で生活していましたから、相当な額ですよ。絵で得た収入で好きなお酒を飲んでいました。

今も旅行の時は必ずスケッチブックを持って行きますし、仕事が終わって家に帰ると部屋にこもって描いています。僕は描きたいテーマがあって描き始めるというよりは、気分に応じてモチーフを考えながら描いていくスタイルです。

中島さんにとって、絵画はどのような存在ですか？

自分の内面を表に出すために必要な存在です。絵画は医学とは全く違います。医学はあくまで技術、知識が大前提ですが、絵画では感性、感覚が求められますから。絵を描くことで医師業とのバランスが取れているのかもしれない。

人に対して 謙虚であることが大切

日本に帰りたと思ったことはありませんでしたか？

20年程前、このままドイツで暮らそうかどうか悩んだことはありました。でも、僕にとっては家族が一番大きな存在ですし、今さら日本に帰っても……と思い、国籍をドイツに切り替えました。僕自身はどこでも暮らせるような気がしているし、故郷というのは家族がいる所だと思のです。だから、日本の国籍を捨てるだとか、あまり大げさには考えずにね。実際、ドイツ国籍

を持ってれば、身分証明書1つでヨーロッパ内を自由に移動できるなど、何かと便利です。

ドイツが気に入っているんですね。

ドイツは住みやすいと思います。街はきれいだし、古いものを大切にすることがあります。ごみごみとした日本の街には、もう住めませんね。ただ逆に言えば、ドイツでは家を1軒建てるにも、好き勝手にはいかず、非常に細かい規則があります。だからこそ街がきれいなのですが、何にしても規則・法律がものをいう、融通が利かない社会だとは思っています。

それから、医師というのはドイツではある程度、社会的地位の高い職業なので楽ですね。馬鹿みたいだけど、ドイツ人ってそういうところを大切にするとすよ。

逆に、ドイツに住んでいて見えてくる日本の良い面、悪い面は？

日本では、言葉で言わなくても伝わるところが良いですね。花を見て「ああ」と言えば、日本人ならそれが「ああ、きれい」と言いたいのだとすぐ分かりますが、ドイツでは「ああ？ 何？」という反応が返ってきますから。

それから食べ物。神戸牛のしゃぶしゃぶやふく刺しが懐かしいです！ とても繊細な、ドイツにはない味ですよ。食べ物と言えば、日本は食器も美しく、京料理なども目で楽しむものですが、ドイツにそういう感覚はないでしょう。

悪い面は、政治家の質の低さ。もう、毎日インターネットで日本の情報を読んで、

腹を立てていますよ！

ご自身の健康法を教えてください。

こればかりは医者不養生で、自分の健康にはあまり構わないというか。でも、週末は近所の森を1時間程掛けて散歩していますし、年に2、3回旅行に出掛けています。これが一番の気分転換です。

ただ、老化は感じますね。仕事でも、昔なら手際良く進んでいた繊細な手術も、今はできなくなっている。視力が衰えたことが大きな原因です。肉体的な老化は精神的な老化と違って止められません。それをわきまえておかないと、外科医として高慢になってしまうと思います。

日本を出てドイツで生活する日本人に、メッセージをお願いします。

どんなに長くドイツにいても、鏡を見れば日本人です。人に対して常に謙虚であることが大切だと思います。

僕は定年後もいくつかの病院から声がかかって、結局まだ働いていますが、辞める際には「なぜ残らないのか？」と言われる。これは、医師としてのレベルが認められている証拠なのだと思います。そのためには、医師としての勉強も怠りません。僕は、普通の医師よりはるかに多く勉強してきた自信があります。それが評価されてきたのだから、幸運ですね。

僕たちは日本人です。人に厳しくするのなら、自分にも厳しくする謙虚さが必要だと思います。とはいえ、周りから「あいつは威張ってる、厳しい」と言われる僕も高慢ですけどね。

最新ニュースをリアルタイムに入手したい

欧州ビジネスを成功に導く情報ツールとして、英・独・仏・中東欧・ロシアなどの国、地域ごとの最新情報をリアルタイムに日本語でお届けします。

仕事上、過去記事や経済指標も欲しい

過去5年間の記事から、必要なものだけを自由に引き出せます。各種データベースとともに、市場調査や各国の現状分析、レポート作成時の参考情報としてご利用いただけます。

すべての記事にはとても目を通せない

常時モニターしておきたい分野の記事はジャンルごとの事前登録(クリッピング)で、ひとまとめにご覧いただけます。

重要ニュースの見落としを防止したい

クリッピング内容や指定業種のニュースなどを、読者のメールアドレスに速報する「ニュースメール」で重要ニュースを見逃すことはありません。

速報します
欧州発の
ビジネスニュース

JJI-Web
News Service

時事通信社

最新ニュース&記事データベースサービス
フリートライアル実施中

下記のEメールアドレスに
1) 会社名 2) お名前 3) 電話番号 4) Eメールアドレスを添えてお寄せください。2週間、本サービスを無料でご試用いただけるフリートライアル用IDとパスワードをご連絡いたします。ぜひ一度、通信社のリアルタイムニュースをご体験ください。

JJI PRESS
【お問い合わせ】時事通信社 ロンドン支局
担当：舟本 E-mail: funamoto@jji.co.uk
Tel: +44 (0)20-7936-2847

JJI PRESS
時事通信社